けもの通信

2026
10
9月25日発行

クマと出会ってしまったら…

1．まずは落ち着く！！

クマも人が怖い！こちらと同じように、相手の出方をうかがっています。
まずは落ち着いて、クマの行動を観察しましょう。

2．じっとする、または　後ろに下がる

クマに背中を向けると、本能で追いかけてくることがあります。
そのため背中を見せず、できればゆっくりと後ろに下がりましょう。
ただし、山の中など足場が悪い場所では、無理に動かず
そのままじっとしてください。
人が、クマに落ち着いて逃げられる状況を作ってあげることで、
クマは自分から山に帰っていきます。



このページだけでは伝えきれない！
YouTube に日本一（世界一？）
わかりやすい動画が
ありますのでぜひご覧ください！

作成している日本クマネットワーク
はクマの専門家の集まりです

【　NG行動　】



背中を見せて走る
（追いかけられる）



石を投げるなど刺激する
（反撃される）



子グマに近づく
（必ず近くに親がいます！）

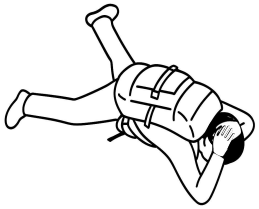
【　もし、襲われそうになったら…　】

- 大きな声を出す！
- 木の枝を振り回す！

【　逃げられない！　と思ったら…　】

絶対に怖いけど、
生存率を上げられる　恰好　（防御姿勢）をとろう！

【 防御姿勢 】



- うつ伏せ
- 頭や首を守る

会わないための工夫

まずは、会わないことが一番！基本的に、クマは人に気づいたら逃げてくれます。
音が鳴るものを身に着けたり、移動しながら大声を出す、歌を歌うなどでも効果があります！

クマってどんな動物？

こんにちは！地域おこし協力隊の小川晴那（おがわはるな）です。
東栄町では今年度、5件の目撃や痕跡の情報が寄せられています。愛知県では年間20頭ほどの目撃情報が寄せられています。
私は大学1年生から修士2年までの6年間ツキノワグマ研究サークルに所属していました。後半4年間はクマにGPSを取り付けて実際にクマのいた場所の環境を調査していました。豊かな自然の象徴であるクマと人が共存できるように、多くの人にクマの問題について考えてもらいたいなと思います。

【NEWS！】公式LINEアカウントを作りました！

気軽に鳥獣について相談してもらえるように、
LINEのアカウントを作りました。
鳥獣の生態や鳥獣被害対策に関する事であれば、
なんでもご相談ください。

スマートフォンの
カメラをかざすと
登録できます。

どういうときにクマに襲われる？

クマによる事故は、そのときの状況によってさまざまです。ここでは、クマと出会ったときに、事故につながることがある主なパターンを紹介します。

特に、クマと突然出会う「ばったり遭遇」による事故が多いとされています。

クマの事故にあわないためには、

- 音を立てて人がいることをアピールする
- 子グマを見ても近づかない
- クマの痕跡や目撃が多い場所に近づかない

ばったり遭遇した



守りたいものがあった



好奇心で…



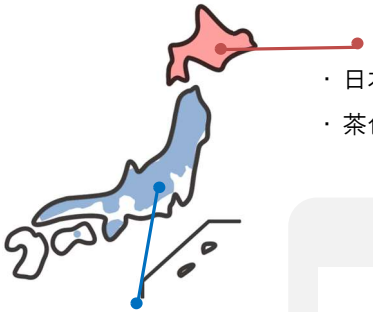
襲おうと思った



【発行元】東栄町役場経済課農林係　地域おこし協力隊　小川（0536）76-1812

日本に生息しているクマは ２種類

日本には、ヒグマ と ツキノワグマ の2種類のクマがいます。
東栄町に生息しているクマは 「 ツキノワグマ 」 です。



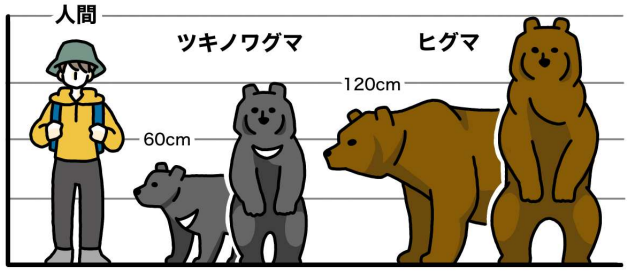
【ヒグマ】
・ 日本では北海道のみに生息
・ 茶色の毛が特徴



【ツキノワグマ】
・ 日本では本州以南に生息
・ 胸の白い三日月模様が特徴



【比べてみよう！ 人とクマ】



ツキノワグマは何を食べている？

エサから見る！



クマは
食べ物への執着が強く、
記憶力がとても優れています。
集落のおいしいエサを覚えると、
毎年出てきます！

注意!! 出没注意時期

夏

・エサが分散しているので、行動圏が広がる
・繁殖期で、オスが出会いを求めて動き回る
・好奇心旺盛な子どもが親離れする時期

秋

・冬眠前でエネルギーをたくさん取る
・秋に1年に摂取するエネルギーの80%を摂取！
・どんぐり類の なり がいい年は、
山のエサで十分ですが、・なり が悪い年は
エサを探し回って集落への出没が増えるかも…

クマの行動圏は？

ツキノワグマの行動範囲は、場所や季節によって変わりますが、
オスでは約50～70km²、
メスでは約20～40km² とされることがあります。
東栄町の面積は約123km²なので、オスのクマ1頭が動く範囲は、
東栄町の半分ほどになることもあります。
長野県の調査では、1年間で457.95km²という広い範囲を移動した例もあります。



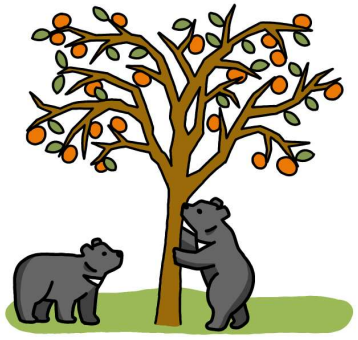
クマって「冬眠」するの？

ツキノワグマは、12月ごろから4月ごろまで巣穴などにこもって「冬ごもり」をします。
冬ごもりの時期や期間は、個体によって異なります。
冬は食べ物が少なくなるため、秋までにたくさん食べて脂肪を蓄え、
その脂肪を使って冬を乗り越えます。

リスなどは深い眠りに入りますが、クマは浅い眠りのまま、ほとんど食べたり飲んだりせずに過ごします。
小さな物音で目を覚ましたり、
冬ごもりの途中で巣穴を変えたりすることもあります。
また、メスは冬ごもり中に出産し、
巣穴の中で子育てをします。
このように、
クマの冬の過ごし方は一般的な「冬眠」とは少し違うため、
学術的には「冬ごもり」と呼ばれています。



木の根元、岩の隙間、倒木の下などの
自然の空洞や斜面に作られます



クマは「なわばり」を持ちません。
そのため、同じ場所を複数のクマが利用することがあります。
例えば、おいしい柿の木があれば、
別々のクマが同じ木に食べに来ることもあります。
また、山の木の実などが少ない時期には、エサを探して広い範囲を移動することがあります。つまり、クマは広い範囲を動きながら、エサのある場所を複数のクマが利用することがあるのです。